

UVインキ

## UV SOC シリーズ

近年、化学物質に関する規制が厳しくなる傾向があり、化学製品であるUVインキに関しても、処方変更を余儀なくされるケースが増えています。『UV SOC シリーズ』は、規制リスクの高い原料を極力除外することにより、長期継続使用が出来る製品を目指して開発したインキタイプです。

乾燥性が良好なカルトン用UVインキであり、ポリエチレンコート紙・一般厚紙などへの印刷に適しています。弊社従来カルトン用UVインキ(Lカートン/カートンGE)対応の製品設定があり、弊社従来品からストレスなく切り替えることが可能です。UVインキの中では水幅が広く、安定して印刷することができます。

## ■ 特 徴

- ▶ 環境リスクに強い処方設計
- ▶ 乾燥性、耐摩擦性、耐溶剤など、被膜耐性が良好
- ▶ 水幅が広い

## ■ 基準色および耐性

品名	耐光性		耐熱性	耐石けん性	耐溶剤性
	濃色	淡色			
UV SOC 黄	4	3	4	5	5
UV SOC 紅	4～5*	3*	4	2	4
UV SOC 藍	8	7	5	5	5
UV SOC 墨	7～8	4	5	2	2
UV SOC メジウム	8	—	5	5	5
UV SOC 白	8	7	5	5	5
UV SOC コンク金赤	3*	2*	4	1	3
UV SOC 耐光 コンク金赤	4～5	3	4	3	4
UV SOC ピンク*	4*	2*	2	1	2
UV SOC 耐性紫	7～8	7	5	5	5
UV SOC グリーン	8	7～8	5	5	5
UV SOC 超耐光性 黄	6～7	5～6	5	5	5
UV SOC 超耐光 コンク金赤	6～7	5～6	5	5	5
UV SOC 超耐光 プロセス紅	6～7	5～6	5	5	5
UV SOC 耐光性 紅	5～6	3～4	5	5	5
UV SOC SR 朱	8	7	5	5	5

評価: 耐光性 8(優)⇔1(劣)、その他: 5(優)⇔1(劣)

☆水(結露を含む)のかかる環境で、マイグレーションを起こすことがあります。

\* 水に濡れた状態では、耐光性が極端に悪くなります。

※SOC / SOC GE とも、各色耐性は共通です。

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。

#### <試験方法>

耐光性 : 印刷物をフェードメーターにて照射試験し、暴露時間と変褪色の程度により強度を8段階に分類。希釈しない濃色とメジウムで5倍に希釈した淡色を試験する。

※カーボンアーク条件での分類

耐熱性 : 印刷物を150℃の熱風循環式乾燥機中で10分間加熱し、変褪色の程度により強度を5段階に分類。

耐石けん性 : 印刷物を10%の石けんゲルに20～25℃で1時間付着し、変褪色の程度および石けんゲルへのブリードの程度により強度を5段階に分類。

耐溶剤性 : 印刷物をトルエンとアセトンの1:1混合液に20～25℃で24時間浸し、変褪色および混合液へのブリードの程度により強度を5段階に分類。

#### ■ 使用上の注意

- ▶ 非吸収原反へ印刷した印刷物が屋外もしくは水(結露を含む)のかかる環境に置かれた場合、接着力が低下して爪などによって簡単に剥がれることがありますので、ご確認願います。
- ▶ 墨は、耐性の弱いアルカリブルートナーを使用しておりますので、PP貼りなどの後加工を行う際は、予め予備試験を行い、問題が無いか確認下さい。アルカリブルートナーの使用が懸念される場合は、ノントナータイプ(NT品)を使用下さい。
- ▶ インキ盛り過ぎやランプの劣化によって、硬化不良・密着不良が発生する可能性がありますので、ご注意下さい。
- ▶ 助剤・洗浄剤・版材については、UVインキ用のものをご使用下さい。
- ▶ ご使用の際には、前のインキの影響を受けないようにご注意ください。
- ▶ 火気に注意し、作業場は十分に換気し、紫外線や直射日光を避けて取り扱って下さい。吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れない様に適切な保護具を着用ください。衣類等に付着した場合は、直ちにその汚れを落とし着替えて、汚れ部分が長時間接触することを避けてください。取り扱い後は、手洗いとうがいを行って下さい。
- ▶ 目に入った場合、直ちに多量の水で15分以上洗い流し、眼科医の手当を受けてください。皮膚に付着した場合には、汚染衣服や靴等の汚れを落とした後、付着部または接触部を石鹼水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流してください。もし、皮膚に炎症やかゆみを生じた場合には、直ちに医師の手当を受けてください。
- ▶ 本製品を御使用の際には、事前に安全データシート(SDS)を良くお読みください。



2024/9/17 No.W-1

- ▶ 記載のデータは、当社の試験方法による実測値であり、規格値ではありません。ご使用に際しては、貴社使用条件に適合するかを必ずご確認ください。なお、本文中の用途はいかなる特許に抵触しないことを保証するものではありません。
- ▶ 製品改良のため、予告なく内容を変更することがあります。
- ▶ 製品使用の際は、必ず事前に安全データシート(SDS)をご一読願います。